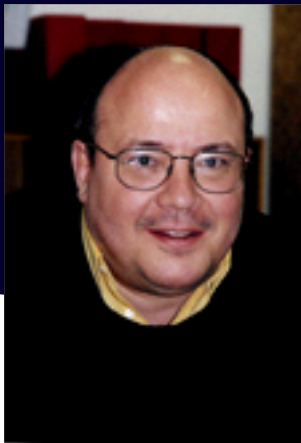


RUNOFF RUNON PROCESS IN THE LIGHT OF QUEUING THEORY. RUNOFF GENESIS, RUNOFF CONNECTIVITY AND UPSCALING

斜面における流出の空間分布、その接続性と全体的な観測流出パターンを調査するため、確率と統計における流出方程式とキューイング方程式間の類似性を用いることにより開発した数学的枠組みに関する講話です。



Emmanuel Mouche

CEA Research Engineer
Laboratoire des Sciences du Climat et l'Environnement

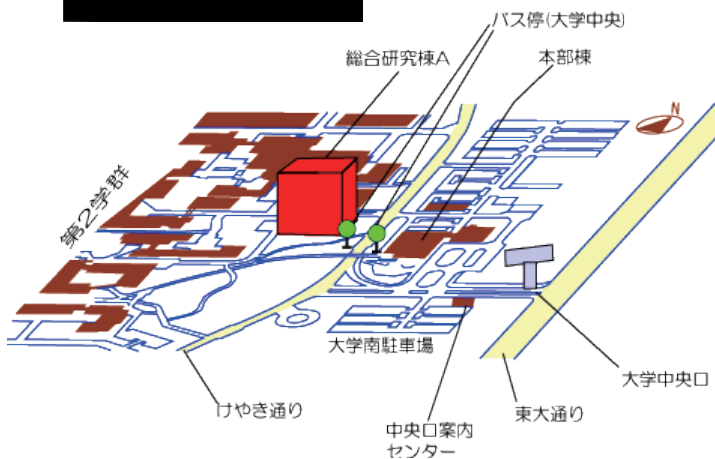
PLACE :
筑波大学 総合研究棟 A-110

DEPARTMENT OF INTEGRATIVE ENVIRONMENTAL SCIENCES A-110

DATE+TIME :
2012年11月26日(月) 16:30-18:30
OCT.26(MON), 2012 16:30-18:30
会議終了後、懇親会を予定しております。

【アクセスごあんない】

- 秋葉原駅からつくばエクスプレス
→つくばエクスプレス(時刻表)、
→つくば駅出口、バスターミナル
→つくばセンターから「筑波大学中央」行きバス(10-15分)
- 東京駅から高速バス (高速バス乗り場2番バス停)
→東京駅八重洲南口から「つくばセンター」行きバス(約65分)
→「筑波大学」(終点・バス停「筑波大学中央」と同じ位置)下車
- 大学構内案内
本専攻がある総合研究棟Aは筑波大学の北地区に当たり、第2学群の東側、本部棟の西側に位置します。
バスでお越しの方は大学中央バス停で下車後、徒歩0分です。



MORE INFO: 筑波大学 生命環境系 教授 恩田裕一 029-853-4226